

第3回 能登半島における広域道路ネットワーク検討会

議事要旨

日時： 令和7年3月24日（月） 15:00～17:00
場所： 金沢河川国道事務所 2階 会議室
出席者： 高山会長、川村委員、中山委員、藤生委員、竹林委員、五十川委員、
杉本委員、桜井委員、金谷委員（代理：川上次長）
事務局（北陸地方整備局、石川県、富山県）

議事概要（各委員からの主な意見）

<能登半島における広域道路ネットワーク基本方針（案）>

- ・能登地域の現状と課題についての的確に掴んでおり、国土幹線道路部会の緊急提言やWISENETにも沿った基本方針となっており、よくまとまっているのではないかと。
- ・基幹軸を中心に生活・医療・物流などの面から今以上に質の高い道路を造り課題を解決していくという方針が見えるのは良いこと。こういう基本方針が提示されることで、市町の地域づくりにも貢献出来ると思うので、早く公表してほしい。
- ・課題を踏まえた「5つの視点」と「3つのサービスの柱」の関係について、「観光ルートの形成」は「観光周遊」とのみ結ばれているが、サイクルツーリズムの対応において自転車道等が整備されることで結果として耐災害性の向上にも繋がることから、「信頼性・耐災害性」とも結んではどうか。
- ・ネットワーク検討の基本的な考え方として「県内外から人を呼び込む」とあるが、のと里山空港を拠点に追加し、世界に目を向けた観光の視点を追加したので、世界を視野に入れて人を呼び込むことを記載してほしい。
- ・のと里山空港周辺で話が進んでいる新病院から医療の30分圏域の空白地域へのアクセスや、奥能登西部の観光拠点へのアクセスを考えると、のと里山空港と奥能登西部を結ぶ軸は、信頼性・耐災害性のほかに移動の高速化も必要と思われるので、将来的に基幹軸へ位置付けすることや、移動の高速化に資する整備が必要と考える。

以上